

報道関係者各位

2025.9  
福田美術館

## 福田美術館 2026年企画展スケジュールのお知らせ ～現存最古の春画の所蔵など、福田コレクションがさらに充実～

福田美術館では、2026年秋、開館以来初となる春画展を開催し、日本現存最古の春画「稚児草紙」（ちごそうし）を初公開いたします。

本作は2025年に新たに加わった所蔵品で、14世紀初めに制作された幻の作品となり、長らく一般の目に触れることがなかった貴重な文化財です。この特別公開に合わせ、江戸から明治にかけて描かれた春画を中心に様々な「姿」「愛のかたち」を描いた名品の数々を紹介します。



春から初夏には、「若沖にトリハダ！ 野菜もウリ！」にて、近年話題を呼んだ伊藤若沖の巻物《果蔬図巻》を修理後、初展示します。またこの度新しく所蔵品となった、伊藤若沖の《老松白鶴図》を初公開するなど、若沖芸術の魅力を存分に味わうことができるまたとない機会です。

さらに、昭和100年記念「あの頃は ～栖鳳・魁夷・又造らが起こした昭和の風～」や、仏画を主とした展示「幸せになりたい！ 一祈りの絵画—（仮）」など、年間を通じて今までの福田美術館とは一味変わった多彩な企画展を準備しています。

### 福田美術館 企画展スケジュール

2026.1.31（土）～4.12（日）

昭和100年記念「あの頃は  
～栖鳳・魁夷・又造らが起こした昭和の風～」

4.25（土）～7.5（日）

「若沖にトリハダ！ 野菜もウリ！」

7.18（土）～9.6（日）

「幸せになりたい！ 一祈りの絵画—」（仮）

9.19（土）～2027.1.17（日）

「人のすがた・愛のかたち  
～最古の春画《稚児草紙》初公開—」（仮）

### プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）  
担当：田中、樋口  
TEL：03-6264-2045  
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

2026.1.31 (土) ~4.12 (日)

前期：1/31 (土) ~3/2 (月) 後期：3/4 (水) ~4/12 (日)

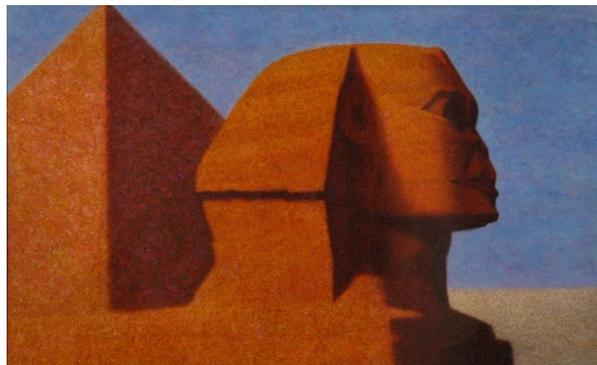
## 昭和100年記念「あの頃は ~栖鳳・魁夷・又造らが起こした昭和の風~」

昭和100年にあたる節目の年にちなみ、昭和に描かれた100点の選りすぐりの作品を展示します。

1926年から1989年まで64年間に及んだ昭和という時代は、戦争と復興、高度経済成長、バブル景気と、貧しさも豊かさも併せ持つ激動の時代でした。美術もまた、その時代の風と無縁ではありませんでした。

明治・大正を生き抜いた竹内栖鳳（たけうちせいほう）、横山大観（よこやまたいかん）らの戦前の円熟期

厳しい時局の中で活動を続けた戦中、そして東山魁夷（ひがしやまかい）や杉山寧（すぎやまやすし）ら戦後世代が逆風を受けながらも未来へと前進した時代—昭和の美術は、時期ごとに全く異なる表情を見せています。100点の作品を通じて、意欲と熱気に満ちたあの特別な時代の風が嵐山に吹き渡ります。



杉山寧《悠》福田美術館蔵 旧山本憲治コレクション  
当館初公開

2026.4.25 (土) ~6.1 (月)

前期：4/25 (土) ~6/1 (月) 後期：6/3 (水) ~7/5 (日)

## 若沖にトリハダ！ 野菜もウリ！

2023年にその存在が確認された伊藤若沖《果疏図巻》は長年ヨーロッパで所蔵されていましたが、一昨年ついに日本へ里帰りしました。

本展では約1年間の修理を経て蘇った本作に加え、2025年にコレクション入りした《老松白鶴図》を初公開します。さらに、若沖最初期の作である《蕪に双鶏図》など、初期から晩年までの若沖作品約30点を網羅。

また、福田美術館が所蔵する与謝蕪村、円山応挙、長沢芦雪（ながさわろせつ）ら、若沖と同時代に京都で活躍した画家たちの優品も併せて紹介いたします。



伊藤若沖《果疏図巻》（部分）福田美術館蔵



伊藤若沖《老松白鶴図》  
福田美術館蔵  
初公開

2026.7.18（土）～9.6（日）

## 幸せになりたい！ —祈りの絵画—（仮）

ラスコーやアルタミラの洞窟壁画から現代まで、人はしばしば、絵に祈りを込めて描いてきました。本展では、コレクションの中から入江波光（いりえはこう）、村上華岳（むらかみかがく）ら近代画家による**仏画コレクションを一挙公開**。長沢芦雪、曾我蕭白（そがしょうはく）らの吉祥図など、幸福への祈りを託した作品も併せて紹介します。



木村武山《天女散華》福田美術館蔵

2026.9.19（土）～2027.1.17（日）

## 人のすがた・愛のかたち —最古の春画「稚児草紙」初公開—（仮）

**14世紀初めに制作された現存最古の春画《稚児草紙》を初公開します。**長らく醍醐寺に保管された「幻の作品」と呼ばれる歴史的にも重要な作品を2025年に新たに福田コレクションとして迎えました。僧侶と稚児の愛の行為に詞書(ことばがき)が添えられた本作は、穏やかな色調での彩色と、ユーモラスな人物の表情など、細部に宿る奥深い魅力と、想像力を掻き立てられる物語性が特徴です。

本展では、《稚児草紙》以外にも江戸から明治の春画11点を展示します。特に日本最古の春画とされる《小柴垣草紙》（江戸時代・写本）は見逃せません。また春画以外にも白隠慧鶴（はくいんえかく）《神農図》、与謝蕪村（よさぶそん）《十二神仙図屏風》、など、ヒトという形を借りた姿の多様さとそこにこめられた感情表現に迫ります。



作者不詳《稚児草紙》福田美術館蔵（部分）  
当館初公開



作者不詳《小柴垣草紙》福田美術館蔵（部分）  
当館初公開

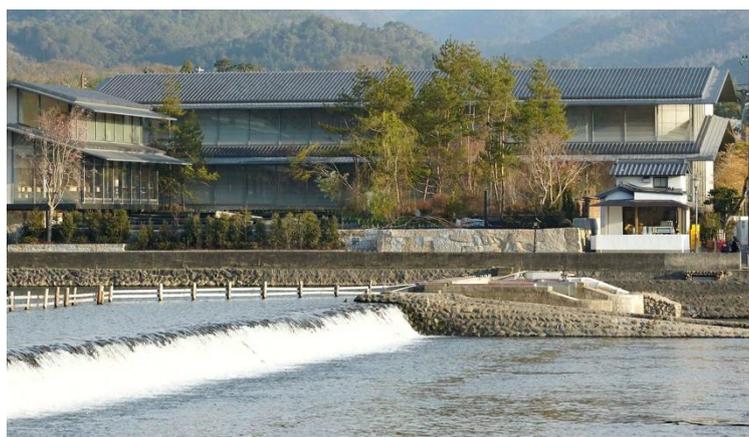
## 福田美術館について

### 美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。

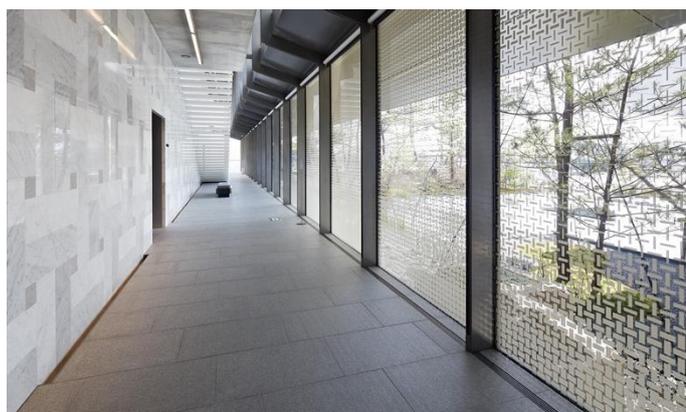
オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

福田美術館は2024年10月で開館5周年を迎えました。今後も「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。



### 嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



## 福田美術館概要

### ■ 施設名称

福田美術館

### ■ 開館時間

10:00～17:00（最終入館 16:30）

### ■ 休 館

展示替え期間、設備点検日、年末年始

### ■ アクセス

〒616-8385 京都府京都市右京区  
嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16  
JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」  
下車徒歩12分／  
阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩11分／  
嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩4分



### ■ 料 金

〈福田美術館〉  
一般・大学生：1,500円  
（高校生900円 小中学生500円 障がい者・付き添い各900円）

〈嵯峨嵐山文華館との二館共通券〉  
一般・大学生 ¥2,300/高校生 ¥1,300/小中学生 ¥750  
障がい者と介添人1名まで 各¥1,300

### プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）  
担当：田中、樋口  
TEL：03-6264-2045  
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

### 一般の方からのお問合せ

TEL：075-863-0606（代表） Email：[info@fukuda-art-museum.jp](mailto:info@fukuda-art-museum.jp)